



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では感染症に注意を払いながら、修了式や卒業式など子ども達にとっては節目の時期を迎えています。元気で明るい子どもたちの未来のために地域の方々が多くの方面で関わっていただいています。今月号においても町民と子どもたちのかかわりを中心に、その様子をお伝えいたします。

## しみず保育所

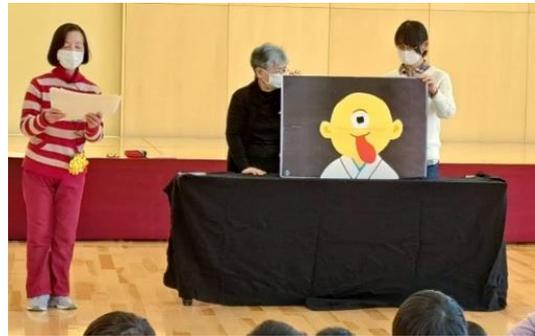
### 今回も楽しかった！！五月会さん！！！！

2月7日（火）、五月会の皆様が4冊の絵本を持ってしみず保育所に来てくれました！！

五月会の皆様は、しみず保育所ができる前の第一保育所、第二保育所の頃から絵本の読み聞かせをして頂いていました。

今回も小さい子から大きな子が楽しめるような絵本を用意して下さい、子ども達もどんな絵本を読んでもくれるのかワクワク。絵本「鬼のパンツのそのあとは」は子ども達が知っている♪鬼の

パンツの歌と一緒に歌いながら見ました。意外な結末に「えーっ！！！」と驚きと笑いで盛り上がっていました。大型絵本「じゃんけんぽん」では絵本に登場してきた太陽や雲とじゃんけんを試みたり、最後まで絵本の読み聞かせを楽



しんでいた子ども達でした。五月会の皆様、今年もありがとうございました。

## 御影こども園

### 5年生からビデオメッセージが届きました！

御影の保小連携の一つとして入学前に5年生との交流があります。コロナ禍のため、直接交流が難しくなりましたが、毎年小学校側がビデオメッセージを作って、小学校の様子を年長さんに教えてくれたり、招待のことばをかけてくれたりしています。



何かと制約の多い3年間でしたが、時間のない中、できる限りの工夫をしてくれた小学校の先生、5年生の皆さんありがとうございました。子ども達も、今から入学後に何をするか楽しみにしています。来年度は直接交流できるようになると良いですね。

## 清水幼稚園

### 清水高校と幼稚園

この3月で、昭和53年から44年間の清水幼稚園の歩みが終わり、保育所と統合し、しみず認定こども園として開園します。

この歩みの中で清水高校との年間を通じた校種間連携・交流は、10年以上継続され、農園活動、食育交流、木のおもちゃ交流など園児の健やかな成長の一助

となり、保育の質の向上につながりました。

春は、幼稚園の畑を耕してから、高校生の優しく丁寧な指導の下、園児はじゃがいも植えをしました。植えている間に花やミニトマトも植えてくれたり、物置



屋食にミニトマトを収穫して食べました。トマト嫌いだったけど幼稚園のトマトは美味しいという園児もいました。

の夏・冬の遊び道具の入れ替えも手伝ってくれたりしました。また、年長組は清水高校のハウスでさつまいも植えも行いました。夏はじゃがいもや花壇の世話に幼稚園に来てくれました。秋は、一緒に収穫して、さつまいもは園庭で高校生が焼き芋をつくってくれました。その時に高校生と一緒に冬支度もしました。高校生は春と同じように物置の夏・冬の遊び道具の入れ替えを手伝ってくれたり、沢山の落ち葉を集めてくれたり、とてもよく働いてくれました。園児にとって高校生

は頼りになる優しいお兄さんで憧れです。高校生に焼き上がった芋を食べやすい大きさに切ってもらい、みんなであつあつの芋を笑顔でたくさん食べました。また、今年度は閉園のため行いませんでしたが、例年は高校の先生が来年のためにとトラクターで耕してくれていました。

そして、冬になるとパンづくりを通して食育交流をしたり、木のおもちゃを制作しそのおもちゃで交流したりしました。卒園式近くなると、可憐な花を持ってきてくださり、式場を華やかにしてくれていました。

本当に長い間、清水高校には、先生方をはじめ、生徒の皆さんに、幼稚園のために数々のご尽力をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。幼稚園は閉園しますが、しみず認定こども園に統合されますので、よろしくお願い致します。

今後も清水高校が地域の学校としての大役を果たし、更なる発展を祈念しております。



清水高校から頂いたお化けカボチャです。年長組が装飾して楽しいジャック・オー・ランタンが出来上がり、園庭が賑やかになりました。

## 清水小学校

今年もいい字が書けました。

3月24日に行われる清水小学校第120回卒業式に向け、式場に掲示する四字熟語を6年生が条幅紙に書きました。

卒業を間近に控えたこの大切な節目の時期に、普段は使うことのない書き初め用の太い筆で、墨をたっぷりを使い、堂々と力強い筆致で四字熟語をしたためました。



今回もスペースが大きく取れる体育館で行いました。事前準備として、子どもたち自身が将来の自分の人生において大切だと思う言葉を選びました。そして、学校に保管してあるお手本を見て丁寧に書きました。しかし、筆も太く半紙も大きいため、なかなかうまく書けません。それでも諦めず、書写ボランティアの方に筆の使い方、字のバランスの取り方などの

コツを教えていただきながら、うまくいくまで取り組みました。おかげさまで、子どもたちは納得のいく作品を仕上げることができました。達成感に満ちた表情で、授業を終えていたのが印象的でした。

今回、子どもたちが魂をこめて書き上げた作品は、前述のとおり、卒業式にて掲示する予定です。小学校生活最後の登校日である卒業式が、さらに子どもたちの作品で、彩り豊かになりそうです。



## 御影小学校

卒業・進級を支えるC・Sボランティア

## 四字熟語（書写ボランティア）

今年は9名もの書写ボランティアの方にご指導を頂きました。対象は6年生です。中学校に向けた目標を、「四文字熟語」のお手本から選びました。写真にある「真剣勝負」「有言実行」等、正に中学校に向かう意欲を感じる文字ばかりでした。



始まると集中して真剣に取り組んでいました。書写ボランティアの先生からは、良い点を褒めてもらい、大事な点を丁寧に指導していただき素敵な作品ができました。卒業式会場通路に飾らせていただきます。



ありがとうございました。

## 文化・伝統体験

卒業前の6年生にとって文化・伝統体験は2つの目的があります。一つは日本の文化・伝統を体験しその良さに触れる。もう一つは、中学校生活を支える小学校の有意義な思い出をつくることです。



今年度は3つの団体、三味線・

華道・剣舞の方に来ていただきました。私(校長)も大学生まで剣道を行っていたので耳に残っているのが「守・破・理」です。守って、破って、理にかなう(辞書では

守破離でした)講師の先生のお話に耳を傾けると、三味線のバチを親指と人差し指の間にのせる、花は三角形に生ける、剣舞の扇の開き方等、幾つもの年月をかけた型(基本)を教えてもらっていました。



6年生の講師の先生の話に真剣に耳を傾け、必死に学んでいる姿がとても爽やかに映りました。多くの皆様のご支援、誠にありがとうございました。

# 清水中学校

## 行政相談出前授業

～板橋さん最後の授業に感謝～



当日は釧路行政監視行政相談センターから職員をお迎えし、行政相談制度の説明をしていただきました。その後、清水町行政相談委員の板橋茂美さんから講話を頂戴しました。



板橋さんはこの出前授業を最後に、長らく務めた行政相談員を引退することになっていました。最後の花道を用意することになったのが清水中学校でよかったのか分かりませんが、少し前にはお孫さんも通っていました

ので、これも何かの縁です。落ち着いた上品な口調で講話が始まり、引き込まれます。短い時間ではありましたが、濃密な時間を過ごすことができました。

当日は多忙にもかかわらず講話をしてくださった板橋さん、釧路行政監視行政相談センター職員の皆様、ありがとうございました。

# 御影中学校

## 薬物乱用防止教室

3月8日（水）、3年生を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。新得警察署より講師をお招きし、毎年実施している講座です。

講演会を終えた生徒の感想は、「危険ドラッグや大麻が思ったより身近にあるということがわかった。」「友人とは何か、優しさとは何かを考えることが大切だと思った。」「犯罪の3つの条件『動機、機会、正当性』の意味を知って自分にも起こりえる可能性が非常に高いと感じた。危険ドラッグに誘われても絶対に断る勇気を持とうと思った。」等、改めて、薬物乱用の恐ろしさについて再認識すると同時に、そのきっかけなどについても知識を深め、全ての生徒が「絶対に危険ドラッグは使用しない」と決意することができました。

